

第7期「にいがた福祉リーダー塾」開講

主催：新潟県労働者福祉協議会 共催：新潟ろうきん福祉財団

中央労福協、労働者福祉東部ブロック協議会が実施してきた福祉リーダー塾を新潟県内で、より多くの方から参加できるようにと、新潟労福協が地域版として、全国の地域労福協に先駆けて実施しています。2013年度からはじまった同塾は、今年で7年目を迎え、およそ120名の塾生を輩出しています。

開催日：2019年7月5日(金)～6日(土) 会場：万代シルバーホテル

第一講義

タイトル：歴史から学ぶ労働者運動・労働者自主福祉運動の理念とこれからの役割

講師：高橋 均氏
(中央労福協)



第二講義

タイトル：社会的養護の現状と新潟県内におけるNPOの取組事例

講師：小池 由佳氏
(新潟県立大学)



第三講義(第1部)

タイトル：労働金庫運動の基本方向と課題

講師：鶴巻 洋介氏
(労働金庫)



第三講義(第2部)

タイトル：全労済運動の基本方向と課題

講師：佐藤 浩氏
(全労済)



未来塾運営メンバーからのメッセージ

「自分の想いを持ち寄り労働者自主福祉運動の未来を語る機会が欲しい」「未来を語る講師を迎え新たな勉強がしたい」「塾生同士で未来を語りあいネットワークを拡げたい」との想いを持つ卒業生たちの期待に応え、2016年より「未来塾」を開催。その運営メンバーからのメッセージを伝えました。



第四講義

タイトル：労働組合・労働者自主福祉事業団体の活動事例

講師：麻生 裕子氏
(連合総研)



第五講義

タイトル：ビジネスユニオリズムからソーシャルユニオリズムへ

講師：山本 幸司氏
(中央労福協)



グループミーティング

- (1)「働くことを軸とした安心社会」の実現に向けた労働組合・労福協の役割
- (2) 労福協の地域運動の実践課題は何か
- (3)「協同組合間協同」の在り方
- (4) 労福協とNPO等市民活動団体との連携と協同をどう進めるか



本紙含む過去のレポートは、ろうきん財団ウェブサイト「ライブプランセミナー」よりダウンロードしてご覧いただけます。

<http://www.zaidan-hukushi.or.jp>